

まちづくり交付金 事後評価シート
富久町地区

平成22年2月

東京都新宿区

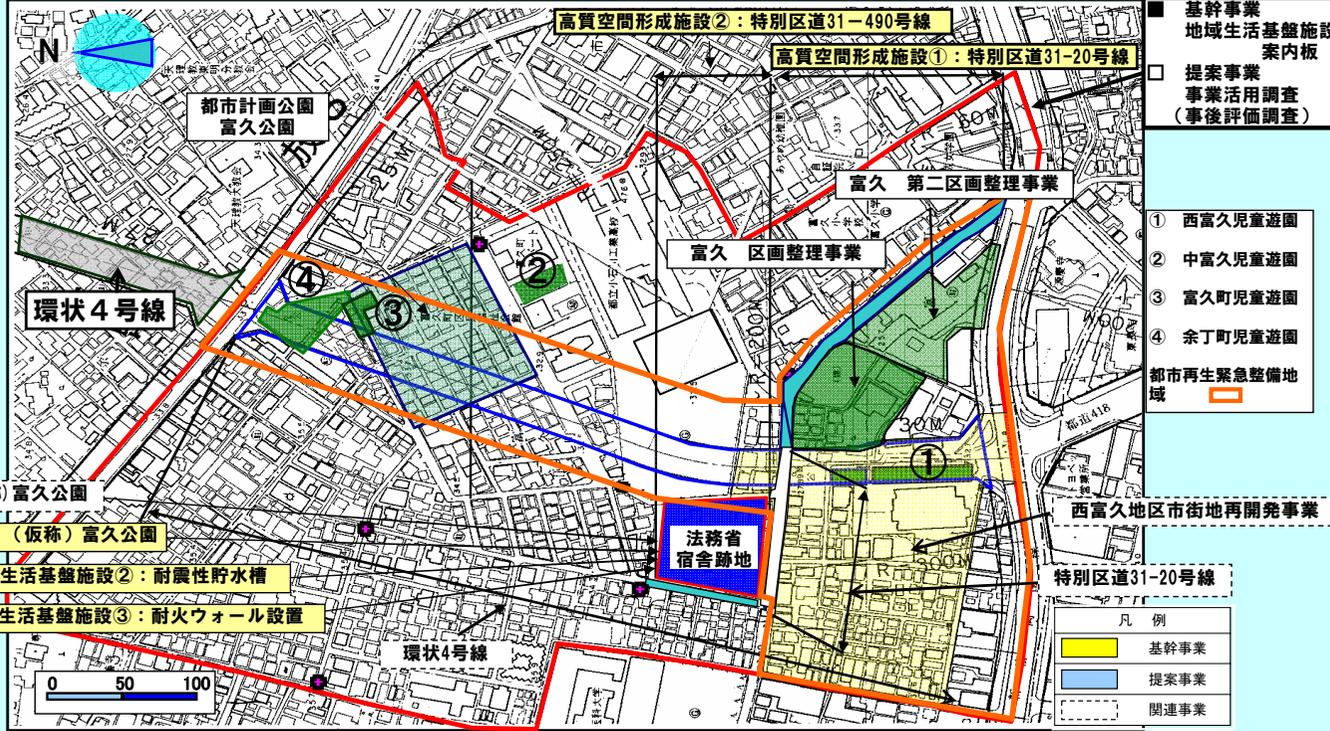
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都	市町村名	新宿区	地区名	富久町地区			面積	20ha					
交付期間	平成19年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年8月～平成21年12月	交付対象事業費	848	国費率	0.423							
当初計画に位置づけ、実施した事業 当初計画から削除した事業 新たに追加した事業 交付期間の変更	基幹事業	公園(仮称:富久公園)、地域生活基盤施設(耐震貯水槽、耐火ウォール、施設案内板)、高質空間形成施設(特別区道31-490、特別区道31-20、道路修景整備)												
	提案事業	事業活用調査(事後評価調査)												
		事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-											
		提案事業	-											
	新たに追加した事業	基幹事業	-											
	提案事業	-												
交付期間の変更	当初	平成19年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
	変更													
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
	指標1	歩行者通行量	人/h	43	H18	100	H21	モニタリング	評価値	116	○	あり なし	道路のカラー舗装化により歩行者安全性が向上する見込みである(平成22年2月完成予定)。また、西富久地区市街地開発事業により、周辺が活性化しており、歩行者通行量は増加傾向にある。	H22年8月
	指標2	公園利用者の満足度	%	17	H18	50	H21	-	90	○	あり なし	富久さくら公園が整備されたことにより、子どもの遊び場や地域住民の憩いの場として利用され、利用者は増加傾向にある。周辺には大きな公園はないため、周辺住民の公園整備に対する満足度の向上に大きく寄与している。	-	
	指標3	防災活動参加者数	人	100	H18	500	H21	-	527	○	あり なし	耐震性貯水槽の他、耐火ウォールを設置した富久さくら公園が整備されたことにより、防災活動拠点として認識されている。	H22年3月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
	その他の数値指標1						モニタリング	評価値	達成度※1					
4) 定性的な効果発現状況	・カラー舗装(平成22年2月完成予定)の他、土地区画整理事業の完了や大型マンションの建設などにより、既存歩道との回遊性が生まれ、散歩やジョギングを楽しむ人が増えている。 ・広域避難所の誘導のために地域案内板を設置するが、富久を訪れた方の案内板としても役に立つものとするにより、利用者が増加する見込みである(平成22年2月完成予定)。 ・富久さくら公園では、砂場や遊具などが設置され、子どもを持つ親が子どもを連れて遊びに来ており、地域コミュニティが形成されつつある。また、周辺住民がラジオ体操の場として利用したり、富久地区の会社員が休憩の場としても利用しており、利用者が増加傾向にある。													
5) 実施過程の評価		実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	-	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			
	住民参加プロセス	-	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も公園機能の維持・管理や防災活動拠点としての位置づけを高めるため、地域住民との意見交換会を実施し、意見反映に努める。			
持続的なまちづくり体制の構築	なし	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地区計画の策定に向け、地元との協議・調整を行っていく。				

様式2-2 地区の概要

富久町地区(東京都新宿区富久町) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
安全・安心なまちづくりの推進 1 道路のカラー化により歩行者が安全に通行できる歩行空間の形成。 2 地域の核となる公園のあるまちづくり。 3 防災意識の高揚を図る拠点づくり。	歩行者通行量	単位:台/時	43 H18	100 H21	116 H21
	公園利用者の満足度	単位:%	17 H18	50.0 H21	90.0 H21
	防災活動参加者数	単位:件	100 H18	500 H21	527 H21



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 区道31-20号線及び区道31-490号線のカラー舗装により、歩行者の安全性が向上する見込みである(平成22年2月完成予定)。 富久さくら公園の整備により、地域住民の憩いの場が形成された。また、震災時にも活用可能な広域避難所として位置づけられて、地域防災拠点として認識されている。 地域案内板の設置により富久さくら公園へ適切に誘導することができるようになる見込みである(平成22年2月完成予定)。
----------	--

今後のまちづくり
の方策
(改善策を含む)

- ・周辺の大規模区画整理による宅地開発の状況を踏まえ、住環境と調和したまちなみの形成を図るため、地区計画等のまちづくり制度によるルールづくりが必要である。
- ・富久さくら公園内に設置した耐震性貯水槽や耐火ウォールを積極的に活用し、地域住民の防災意識の向上に努めるとともに、周辺地域の不燃化・耐震化等による防災まちづくりを推進することが必要である。
- ・今後も富久さくら公園を地域の核として拠点性を高めるため、地域防災活動やその他のイベントなどを開催するとともに、簡易トイレ等の防災設備をより充実させることが必要である。
- ・公園の整備に関しては、今後西富久市街地再開発事業や旧小石川工業高校などの進捗状況による地域の変化を見極めながら、公園の拡大や位置づけの再検討が必要である。
- ・環状4号線整備や西富久市街地再開発事業の完了後に、改めて自動車通行量の測定や歩行者・自転車の安全対策が必要である。
- ・富久さくら公園では、町会/パトロールによりホームレス対策を実施しているが、今後は新宿区と協働しながら、公園利用のルールづくりや公園サポーター等により公園の維持・管理に努めていくことが必要である。
- ・高校・大学などの教育機関や福祉施設の集積する地区であるため、誰もが安全に利用できる施設の整備を推進していくことが必要である。

まちづくり交付金 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
公園	(仮称)富久公園	1,928	A=3033.86㎡	1,928	A=3033.86㎡			●	
地域生活基盤施設	耐震性貯水槽	26	100t×1箇所 50t×1箇所	26	100t×1箇所 50t×1箇所			●	
地域生活基盤施設	耐火ウォール	4	1箇所	4	1箇所			●	
地域生活基盤施設	施設案内板	7	7箇所	7	6箇所	設置箇所の見直しを行ったことによる設置箇所の減	影響なし		●
高質空間形成施設	特別区道31-490、特別区道31-20、道路修景整備	36	歩道カラー化工事 L=320m	36	歩道カラー化工事 L=320m				●
高質空間形成施設									
地域生活基盤施設									
高次都市施設									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
	事後評価調査	3	調査	1	調査	300万円から100万円へ(入札による減額)	指標への変更は特になし		●
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
環状4号線(外苑西通り)		富久町21外			未定	未定	平成21年9月測量説明会実施	
西富久地区市街地再開発事業		富久町14~19			平成21年~平成25年	平成21年~平成25年	組合設立認可中	
カラ一舗装(区単独費)		富久町21先	13		平成21年~平成21年	平成21年~平成21年	平成21年度中に完成予定	
(仮称)富久公園(区単独費)		(仮称)富久公園	44		平成19年~平成20年	平成19年~平成20年	平成21年4月より開園	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無			
			基準年度		基準年度		目標年度		モニタリング	事後評価	数値	モニタリング	事後評価	あり	なし		
指標1	歩行者通行量	人/h	従前値と同様の手法で区道31-20の区間において、平成21年9月29日(午前7時～午前9時の2時間)に計測し、計測した歩行者通行量を、評価値とする。	-	-	43	H18	100	H21	モニタリング			116	モニタリング	○		
										事後評価	確定 見込み	●		事後評価	○		
指標2	公園利用者の満足度	%	従前値と同様の手法で、新設した富久さくら公園内において、平成21年9月29日にアンケート調査を行い、調査結果を元に、公園利用者の満足度を算出し、評価値とする。	-	-	17.0	H18	50.0	H21	モニタリング				モニタリング			
										事後評価	確定 見込み	●	90.0	事後評価	○		
指標3	防災活動参加者数	人	従前値と同様の手法で、新設した富久さくら公園内において実施された防災活動の参加者数(新宿区及び町内会調べ)を元に、防災活動参加者数を算出し、評価値とする。	-	-	100	H18	500	H21	モニタリング				モニタリング			
										事後評価	確定 見込み	●	527	事後評価	○		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	平成21年9月29日に実施した歩行者通行量の調査結果から、歩行者通行量は116人/hであり、目標を達成しているため。	平成21年9月29日に計測実施
指標2	平成21年9月29日に実施した公園利用者の満足度調査時点で、公園利用者の満足度は90%であり、すでに目標を達成しているため。	-
指標3	平成21年9月末日までに実施した防災活動の参加者数は247人で、平成21年度中の防災活動の予定は2回(計280人を予定)しており、目標を達成する見込みのため。	従前値計測時の防災活動の開催回数は1回で100人の参加者であったが、富久さくら公園の開園後平成21年度中の開催予定数は3回に増加しており、また1回あたり参加者数も2倍程度に増加している。
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・カラー舗装(平成22年2月完成予定)の他、土地区画整理事業の完了や大型マンションの建設などにより、既存歩道との回遊性が生まれ、散歩やジョギングを楽しむ人が増えている。
- ・広域避難所の誘導のために地域案内板を設置するが、富久を訪れた方の案内板としても役に立つものとする事により、利用者が増加する見込みである(平成22年2月完成予定)。
- ・富久さくら公園では、砂場や遊具などが設置され、子どもを持つ親が子どもを連れて遊びに来ており、地域コミュニティが形成されつつある。また、周辺住民がラジオ体操の場として利用したり、富久地区の会社員が休憩の場としても利用しており、利用者が増加傾向にある。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
—	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
富久さくら公園の整備計画に関わるワークショップの開催	予定どおり実施した	【実施頻度】 計5回 【実施時期】 平成19年度中 【実施結果】 富久さくらについては、区が提示した案の地域住民への周知を図るとともに、地域住民参加形式のワークショップを実施することにより、計画段階から住民意向を反映して事業化できた。	今後も公園機能の維持・管理や防災活動拠点としての位置づけを高めるため、地域住民との意見交換会を実施し、意見反映に努める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
なし	予定どおり実施した	平成21年7月 協議会立ち上げ 平成21年9月 役員等決定	地元7町会を母体とする富久町まちづくり協議会	地区計画の策定に向け、地元との協議・調整を行っていく。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討会(庁内の横断的組織)	新宿区みどり土木部道路課、みどり土木部公園課、区長室特命プロジェクト推進課、都市計画部地域整備課、都市計画部景観と地区計画課	●期間中3回の会議を実施 第1回:平成21年8月7日 第2回:平成21年10月14日 (平成21年11月28日~31日に検討メンバー内の回覧を実施) ●その他、メール等にて意見交換を実施	新宿区みどり土木部道路課(まちづくり交付金主管課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標2	指標3			
指標名		歩行者通行量	公園利用者の満足度	防災活動参加者数			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度 総合所見	指標改善への貢献度 総合所見	指標改善への貢献度 総合所見	指標改善への貢献度 総合所見	総合所見	
基幹事業	富久公園	○	道路のカラー舗装化により歩行者安全性が向上する見込みである(平成22年2月完成予定)。また、西富久地区市街地開発事業により、周辺が活性化しており、歩行者通行量は増加傾向にある。	◎	富久さくら公園が整備されたことにより、子どもの遊び場や地域住民の憩いの場として利用され、利用者は増加傾向にある。周辺には大きな公園はないため、周辺住民の公園整備に対する満足度の向上に大きく寄与している。	○	耐震性貯水槽の他、耐火ウォールを設置した富久さくら公園が整備されたことにより、防災活動拠点として認識されている。
	耐震性貯水槽	-		○			
	耐火ウォール	-		○			
	施設案内板	○		-			
	道路修景整備	○		-			
提案事業	事後評価調査	○	○	-	-	-	
関連事業	環状4号線(外苑西通り)	○	-	-	-	-	
	西富久地区市街地再開発事業	◎	-	-	-	-	
	カラー舗装(区単独費)	◎	-	-	-	-	
	(仮称)富久公園(区単独費)	○	◎	○	-	-	

※指標改善への貢献度

- ◎:事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- :事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △:事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- :事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後も周辺の環境変化により交通の流れが大幅に変化することが予想されるため、再度交通量を計測するとともに、歩行者の安全対策を検討していく。	公園サポーターによる公園の維持・管理等を実施し、公園の利用者のさらなる増加と利用者の満足度の向上を目指していく。	防災拠点としての位置づけをさらに高めるため、新宿区や町内会が主催する防災活動イベント等を実施していく。
-------	--	--	---

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
まちづくり評価委員会	日本大学工学部教授、富久北町会長、歌舞伎町二丁目町会長、大久保二丁目町会長	第1回：平成21年9月18日 第2回：平成21年10月28日	新宿区みどり土木部道路課(まちづくり交付金主管課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
法務省宿舍跡地の南側道路 (医大通り)での歩行者の安全性の確保	・歩道のカラー化により、通行車両からの視認性を高めることができ、歩行者の安全性が向上した(平成22年2月完成予定)。	周辺の地区内道路も含めた安全性の向上が必要である。	・環状4号線の整備が進んでおり、開通により交通の流れが大幅に変化することが予想される。そのため、当該整備完了後に再度、地区内道路における歩行者の安全対策を検討することが必要である。
環状4号線事業用地の返還に伴う公園等のオープンスペースの確保	・3,000㎡を超える富久さくら公園が整備されたことにより、地域の憩いの場・広域防災活動拠点が形成された。	富久さくら公園は整備されたが、環状4号線整備事業の進捗に伴い、既存の3公園(西富久児童遊園、余丁町児童遊園、富久児童遊園)は国へ返還予定となっているため、富久さくら公園以外の地区内公園の整備が必要である。	
防災活動の拠点づくり	・富久さくら公園の整備により、地域防災拠点が形成され、地域の防災性が向上した。また、耐震性貯水槽及び耐震ウォールなどが整備され、地域住民の防災意識の高揚が図られた。	地区内の防災意識が高まっている中、空きスペースが少ないため防災活動の拠点づくりが進んでいない状況である。そのため、公園だけでなく、公共施設や駐車場などを利用した防災活動拠点づくりの検討も必要である。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	南側道路(医大通り)の歩行者の安全性と回遊性の向上	・安全に回遊できるようにするための車両規制やバリアフリーの考え方を取り入れた整備を行う必要がある。 ・回遊性の目的となるような施設を設けたり、回遊ルートを設定したりすることで、回遊性を向上させる必要がある。	・バリアフリーの考え方を取り入れた整備事業 ・交通規制(一方通行化等)の検討 ・街路灯等の設置 ・回遊ルートの設定 ・既存施設の有効利用
	公園等のオープンスペースの確保	・地域の核となる公園整備が求められており、富久さくら公園以外の地区内公園の整備が必要である。 ・公園を利用したイベントを積極的に開催し、整備した公園利用の増進を図ることが必要である。	・地区内公園整備事業 ・公園を利用したイベントの開催
	防災活動の拠点づくり	・今後も富久さくら公園を地域の核として拠点性を高めるため、地域防災活動やその他のイベントなどを開催する。 ・富久さくら公園内に設置した耐震性貯水槽や耐火ウォールを積極的に活用し、地域住民の防災意識の向上に努めるとともに、設備機能の周知徹底を図ることが必要である。	・防災活動等イベント推進事業 ・防災既設設備の周知徹底 ・設備機能の有効活用 ・太陽光パネル発電型の電灯設置事業

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策	公園の拡大や新設及び位置付けの再検討	・公園の整備に関しては、今後西富久市街地再開発事業や旧小石川工業高校などの進捗状況による地域の変化を見極めながら、公園の拡大や位置付けの再検討が必要である。	・地区内公園整備事業 ・地域住民参加のワークショップ等による意見収集
	自動車通行量の測定や歩行者の安全対策	・環状4号線整備や西富久市街地開発事業、都立総合芸術高等学校整備の完了後に、改めて自動車通行量の測定や歩行者の安全対策の検討が必要である。	・自動車通行量調査 ・歩道整備事業 ・周辺歩道のネットワーク化 ・街路灯の設置

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

- 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
- 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
- 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
- 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
- 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5ー参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

・地域住民の意見を踏まえ、富久さくら公園の防災設備の強化や公園利用マナーについての検討が必要である。
 ・富久さくら公園では、町会パトロールによりホームレス対策を実施しているが、今後は新宿区と協働しながら、公園の維持・管理に努めていくことが必要である。
 ・高校・大学などの教育機関や福祉施設の集積する地区であるため、誰もが安善に利用しやすい施設の整備を推進していくことが必要である。

添付様式5ー④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2ー①、2ー②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2ー①、2ー②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	歩行者通行量	人/h	43	H18	100	H21	確定 見込み ●	116	○	あり なし	H22年8月	平成22年8月に、歩行者通行量調査を行い、確定値を求める。	
指標2	公園利用者の満足度	%	17.0	H18	50.0	H21	確定 見込み ●	90.0	○	あり なし	-	-	
指標3	防災活動参加者数	人	100	H18	500	H21	確定 見込み ●	527	○	あり なし	H22年3月	平成22年3月に防災活動参加者数を確認し確定値を求める。	
指標4						確定 見込み				あり なし			
指標5						確定 見込み				あり なし			
その他の数値指標1						確定 見込み							
その他の数値指標2						確定 見込み							
その他の数値指標3						確定 見込み							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・数値目標の設定が、事業による効果発現により達成できるものとなっており、数値目標を達成できた。	・毎年計測可能な指標を設定することで、簡易にモニタリングすることができるため、指標選定において、簡易に計測できるものを採用することが有効である。
	うまくいかなかった点	・各指標に対してモニタリングを実施しなかったため、事業期間中に目標を達成するための効果的な施策を講じることができなかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・数値目標と事業効果の整合性がとれており、事業効果が指標の改善に明確に現れており、結果的に数値目標を達成することができた。	・指標の選定においては、指標の求め方の検証、事業効果とそれを定量化する内容の整合性を十分整理する必要がある。
	うまくいかなかった点	特になし	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・個別事業(富久さくら公園)では、住民参加型のワークショップを実施し、住民に望まれる公園整備を実施できた。	・計画当初からまちづくりに対する意見交換を行う場を設置し、事業に対する意見交換を行う必要がある。
	うまくいかなかった点	・住民参加は個別事業にとどまったため、事業実施期間中に、モニタリング等を実施し、住民意見を取り入れながら効果的な対策を講じることができなかった。	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・個別事業の計画段階において、ワークショップを実施し、住民意見を取り入れた。	・事業計画段階で、事業効果分析前に完了できる工程で事業を行うことが必要である。
	うまくいかなかった点	・計画・設計段階の遅れにより、事業の評価時期までに事業が完了していなかった。	
その他	うまくいった点	特になし	
	うまくいかなかった点	特になし	

添付様式6ー参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後のまちづくり交付金の活用予定
予定なし

・事後評価を予定している地区

本区においては、平成22年度に西新宿六丁目西部、八丁目地区の事後評価実施を予定。当地区の事後評価の経験を踏まえて、円滑に事後評価を実施したい。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	区のホームページに掲載	平成21年11月14日～11月27日	平成21年11月14日～11月27日	担当課への窓口受付、 電話、FAX、メール	新宿区みどり土木部道路課(まちづくり交付金 主管課)
広報掲載・回覧・個別配布	広報に区のホームページで原案を公表している旨を掲載	平成21年11月15日発刊 広報11月15日号	平成21年11月15日～11月28日		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	みどり土木部道路課窓口において縦覧	平成21年11月16日～11月27日	平成21年11月16日～11月27日		

住民の意見	特に意見はなかった。
-------	------------

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	藤井 敬宏 日本大学理工学部 教授	第3回 平成21年12月11日 (平成21年9月18日に制度説明及び現地確認、平成21年10月28日に事前資料説明を実施)	新宿区 みどり土木部道路課(まちづくり交付金主管課)	新宿区まちづくり評価委員会設置要綱	まちづくり評価委員会
	富久北町会長 歌舞伎町二丁目町会長 大久保二丁目町会長				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って、事後評価が実施されていることが確認された。
	成果の評価	・見込み値としての判断のため評価が難しい面もあるが、当初設定した指標3つすべてを達成することが見込まれるため、評価はできると理解を得た。
	実施過程の評価	・富久さくらについては、ワークショップの開催により事業の効果発言に寄与しているということが確認された。
	効果発現要因の整理	・周辺地域に大きな公園がなく、また既存の公園も近々東京都に返還が予定される中、富久さくら公園の完成により、地域住民の憩いの場として利用されており、非常に満足度が高いという意見があった。
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案は、HPへのアクセスも多数あった他、みどり土木部道路課への閲覧者もあり、区民に十分に周知された上で、わかりやすく公表されたことが確認された。
	その他	・特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは問題ないと判断された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・富久公園の維持管理に関して、地域住民による対応でホームレス対応などを行っているが、今後は新宿区の協力も得ながら、公園の維持管理に努めていきたいという意見があった。
	フォローアップ	・フォローアップを実施し、確定値が出された段階で再度評価を行う必要があるという意見があった。 ・フォローアップ調査結果については、情報を公開して欲しいという意見があった。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると判断された。
その他	・特になし。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

都市再生整備計画(第1回変更)

とみひさちょう ちく
富久町地区

とうきょうとしんじゅくく
東京都新宿区

平成21年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	東京都	市町村名	新宿区	地区名	富久町地区	面積	20 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 21 年度				

目標

安全・安心なまちづくりの推進

- 1 道路のカラー化により歩行者が安全に通行できる歩行空間の形成。
- 2 地域の核となる公園のあるまちづくり。
- 3 防災意識の高揚を図る拠点づくり。

まちづくりの経緯及び現況

- 区道31-20(医大通り)の南側、富久町10~13については区画整理事業が終了し(H12. 2、H15. 3)、道路幅員が広がったことにより車の通行が増加している。
- 当該周辺地域には公園が少なく、さらに環状4号線事業用地を借用していた西富久児童遊園、余丁町児童遊園、富久町児童遊園を近々に返還する予定であり、公園が著しく不足する。
- 環状4号線と重複している都市計画公園(富久公園)の都市計画変更(代替公園)の必要があり、法務省宿舍跡地(当該地)の用地取得の申し出を国に対し行っている。
- 上記により、環状4号線との重複問題があり、街路事業の進展に対して影響が大きい。
- この地域は、新宿区の7つの「区内地域公園区」のうち区立公園の公園平均面積、公園面積率及び一人当たり公園面積(夜間、昼間とも)がもっと低い地域である。
- 2000㎡以上の公園がないのも、区立公園の平均面積が1000㎡に満たないのもこの地域だけであり、地域の核となる公園の整備を要する。
- 東側には改築等が予定としてある都立小石川工業高校が隣接し、南側には西富久地区市街地再開発事業が予定され、隣接するこれらの敷地とオープンスペースとして一体化を図り、この地域の核となる公園を整備する好機である。
- 環状4号線事業(現在現況測量完了)の開通にあわせ、この地を含んだ地区計画が予定されており、防災機能を強化した、地域の核と成る公園整備が必要とされる。
- 都市再生緊急整備地域である。(平成14年に指定を受け平成24年までに整備を行う)
- 平成18年3月に富久北町町会から防災活動拠点として法務省宿舍跡地(当該地)の取得について4880名の陳情が出され、採択された。

課題

- ・この法務省宿舍跡地の南側道路(医大通り)は車の通行量が多く、特に靖国通りまで歩行者が安心して歩ける道路環境になっていない。
- ・環状4号線事業用地として借用中の西富久児童遊園、余丁町児童遊園を返還することとなるため、公園等のオープンスペースの確保が急がれている。
- ・地域住民により防災倉庫の設置や、個別に防災訓練が法務省宿舍跡地でなされているが、富久町地域の防災活動ができる公園が無い。

将来ビジョン(中長期)

基本構想において、居住環境上あるいは防災安全上、特に改善を必要としている地域の重点整備を図ることとしている。
西富久地区市街地再開発事業とこの事業エリア等を含んだ地区計画により、都市の利便性及び防災性の高い地区として整備していく。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 歩行者通行量	人/h	区道31-20を通過する歩行者数(午前7:00~午前9:00)	歩道のカラー化により、歩行者の安全な交通量の増加を図る。	43	18	100	21
2. 公園利用者の満足度	%	この地区の公園利用者の満足度	魅力ある公園の整備により、地区内の公園利用者の意識調査による好感度の割合	17	18	50	21
3. 防災活動参加者数	人	公園で行われる地区の防災活動参加者数	従前から行われている、この地区における防災活動等の推進による、地区内の防災活動参加者数。	100	18	500	21

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>歩行者の交通安全の確保を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> 区道31-20号線及び、区道31-490号線のカラー化により歩行者通行の安全の確保を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 高質空間形成施設(基幹事業:特別区道31-20号線、特別区道31-490号線)
<p>地域の核となる公園の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の核となる広場を中心として整備する。 (仮称)富久公園への誘導を円滑にするため案内板を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園事業(基幹事業:(仮称)富久公園) 地域生活基盤施設事業(基幹事業/案内板設置)
<p>防災意識の高揚を図る拠点づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> この地区における防災訓練、避難場所等としての機能など防災性を強化した公園の整備を図る。 消防訓練の出来る施設を設置する他、耐震型防火貯水槽を設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園事業(基幹事業:(仮称)富久公園) 地域生活基盤施設(基幹事業:耐震性貯水槽、耐火ウォール設置)
<p>その他</p>	
Empty space for other content	

